

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

よく成長する「三猿」



6月も最後の週となりました。先週は木曜日から6年生が日光移動教室に行っていましたので、今日は久しぶりに全校児童が揃いました。この6年生の移動教室が終わったので、1年生から4年生までの遠足と5年生のハヶ岳移動教室を含め、1学期の大きな行事が終わったことになります。

さて、先ほど6年生が日光移動教室に行ってきたと言いましたが、3日目にこのようなものを見て来ました。



これは日光東照宮の境内にある「三猿」です。目と口と耳を隠した猿で、「見ざる、言わざる、聞かざる」という格言になっている三匹の猿の彫刻です。その意味は、小さいころには世の中の良くない事は、

見ない、聞かない、言わないという生き方の知恵を示していると言われています。

この言葉はどこから来たのかというと、1300年ほど前に中国から伝わってきたと言われていますが、もっと古くからエジプトや世界各地にもあったようです。英語でもこのような諺があります。

「See no evil. Hear no evil. Speak no evil.」

「evil」とは「悪」とか「良からぬこと」という意味です。良からぬことは見ないこと、聞かないこと、言わないこと、という意味です。

この「evil」という単語のアルファベットを反対にすると「live」となります。

「live」とは「生きる」という意味です。

だから、良くないことは見ない、聞かない、言わない方がいいのですが、反対に、よく見ること、よく聞くこと、よく話すことはよく「生きる」ことになります。

七小の皆さんは、「よく見る、よく聞く、よく話す」ことでよく生きる、よく成長していく三猿になりましょう。

1学期も残すところ4週間となりました。東京都も梅雨入りをしてすっきりとしない天気が続きますが、4月に立てた目標を振り返りながら、1学期の学習のまとめをしていてもらいたいです。